

科目名	音楽学特講C	授業期間	春学期
担当教員	村田千尋	科目 No.	CMC2235
受講対象	全専攻、2～4年	単位数	2単位

目 標 ／ 概 要	<p>『音楽の歴史と人、楽器、楽譜、社会』 西洋音楽の歴史を様々な視点から見直し、新たな歴史観、音楽観を形成することがこの講義の目的である。「楽譜」、「楽器」、「音楽家」、「音楽の場」など、幾つかの視点を設定して講述する。 今年の主題は「楽器と音楽の歴史」とする。下に示した日程は、2017年1月段階の素案であり、実際の子定は4月の開講時に提示する。</p>
-----------------	---

授 業 計 画	1	聖書の楽器とオルガン
	2	楽器の禁忌
	3	ルネサンスの楽器（コンソートと声楽曲の楽器演奏）
	4	器楽の確立
	5	バロックの楽器1（チェンバロ）
	6	バロックの楽器2（オペラとヴァイオリン）
	7	ピアノの誕生
	8	ピアノの発達
	9	ピアノの功罪
	10	オーケストラの発達
	11	楽器の改良
	12	楽器と演奏する楽しみ
	13	音響の拡大
	14	20世紀の楽器
	15	録音と放送

準備学習の内容	西洋音楽史概論の講義内容を復習しておくことを勧める。 あるいは、西洋音楽史関連の本によって、勉強しておくことが望ましい。 毎回の講義について、各自のノートをもとめてから次回の講義に臨むことを勧める。
---------	---

履修上の注意	出席を重視する。
--------	----------

評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
	○	○		○		
	補 足	出席を重視し、試験（レポートを含む）得点に出席率を掛け合わせて判定する。 （現段階では、評価方法は未定である） 万が一欠席する場合は、必ず事前に欠席願いを提出すること。				

教材等	村田千尋『西洋音楽史再入門』春秋社2016年 上記は参考書ではあるが、購入して熟読することが望ましい。 他にプリントを配付する。
-----	--